

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 臨時号 〔2020年4月1日発行〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
JAMより、臨時号の会報をお送りします。

新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行により、心休まる暇もない日々を過ごされている方も多いと思います。

メータオ・クリニックのあるタイでも COVID-19 の感染が広がり、在留外国人をとりまく情勢が刻一刻と厳しくなってきました。これにともない、JAM 現地派遣員の有高医師が、熟慮の末、帰国を決めました。

今回の臨時号では、有高医師より、帰国のご報告ならびにメータオ・クリニックの現状などをお伝えいたします。



ご報告：JAM 現地派遣員 有高 奈々絵

皆さま

現地派遣員の有高 奈々絵です。COVID-19 感染の拡大に伴う現地の情勢悪化のため3月26日に急遽帰国いたしましたので、ご報告させていただきます。

3月半ばまで、タイの COVID-19 患者数は数十人と比較的少数でしたが、その後増加ペースが増したため、バンコクでのショッピングモールやレストランの閉鎖など感染対策が次々に強化されました。19日以降メソトでも、ミャンマーが国境の友好橋をまずミャンマー人・タイ人以外に対して閉鎖。その後ミャンマー人・タイ人が通行している非公式な国境も閉鎖し、現地で活動する NGO の一部外国人スタッフの退避も見られるようになりました。

タイ国内の患者数が 300 人を超えたその週末、バンコクから多くのミャンマー移民が帰国のためにメソトに向かいました。一部は帰国できずに国境付近に滞留しているという噂を聞き、23日に第一友好橋、第二友好橋をはじめモエイ川沿いに行きましたが、人影はありませんでした（写真①、②）。



←【写真①】 ほぼ無人の第一友好橋
↓【写真②】 モエイ川を渡る非公式の通行ポイント

街なかにも明らかに人通りや車の交通量が減少し、同日午後メソト病院でメソト初の COVID-19 確定例が出たと報道されると、直後から住民のフェイスブックで当該患者さんの行動経路のみ



ならず個人情報や顔写真が拡散され、急に食品の買い溜めが始まりました。24日午後16時に緊急事態宣言が発令されると発表されるとさらに買い溜めは進み、店舗の自主的な閉鎖も相次ぐようになりました。

そのため24日夜小林代表や田畑事務局長と協議し、緊急事態下ではメソトのイミグレーションが閉鎖され来月早々のビザ延長が不可能になる恐れがあること、県境を跨いだ移動が制限され帰国できなくなる恐れがあること、日本の状況も悪化しフライトキャンセルが相次ぐなど帰国が困難になりつつあることを理由に、26日に一時帰国することといたしました。

一方メータオ・クリニックではここ2週間、連日 COVID-19 対策会議や感染管理の講習を行ってきました。従来の資金不足の中で、使い捨てサージカルマスクや防護具の入手は困難で、結局今週に入り布製の繰り返し使えるマスクの購入（写真③）、プラステ



ックのプレートを使った手作りフェイスシールド（写真④）の作成などを行っています。



【写真③】布マスクの準備



【写真④】手作りフェイスシールド

実際にCOVID-19陽性者が発生した場合に備えてトリアージ(重症度による振り分け)エリアの設定、隔離室の準備、治療ガイドラインの作成などもメソト病院とも協力しながら進めています。また軽症の入院患者さんには極力早く退院してもらい、ベッドの空きを確保しています。という以前に国境閉鎖に伴いミャンマーから患者さんが来院できなくなったため、23日の時点で入院患者数は普段の半分以下でした。逆に国境が閉鎖し帰国できなくなった患者さんをペイシェントハウス(入院不要だが通院困難な患者さんのための宿泊スペース)に案内したり、帰国する方法を知っていると云う患者さんに一緒に連れ帰ってもらったりすることもありました。この2週間、非常時には国境という場所、移民という立場の特殊性、不安定さが際立つことを実感する日々でした。

メータオ・クリニックで勤務を開始し2か月、ようやく現地のスタッフとも親しくなりワークパーミットも取得でき、またクリニックおよびコミュニティが今まさに危機に立ち向かうというタイミングでの帰国には、罪悪感と失意を抱かざるを得ませんでした。緊急事態宣言の詳細が直前まで発表されず残るべきか帰るべきか出国直前まで悩みましたが、今後は気持ちを切り替えて国内から可能な支援を続けつつ、再渡航できるタイミングを探りたいと思います。現地での活動に期待して下さっていた方には、2ヶ月で戻ってきてしまい申し訳ありません。またご心配して下さった方、ありがとうございました。

私自身は元気です。タイからの帰国者は26日時点では自宅隔離の要請対象外でしたが、28日からは対象となりましたので、念のため14日間自宅隔離中です。



国内からできる支援の一つは寄付であり、メータオ・クリニック支援の会は3月28日の臨時会議でCOVID-19緊急支援第一弾として125万円をメータオクリニックに提供することを決定し、同日送金いたしました。うち80万円は長年支援していただいているY様からのご支援で、この場を借りて深謝申し上げます。

メータオ・クリニックはCOVID-19緊急予算として約1,000万円を計上、今週から各ドナーに寄付を呼びかけ始めました。我々も4月中旬を目途に、メータオ・クリニックが現在用意している緊急支援要請の詳細を含めた緊急報告の第二弾を計画しております。タイの患者数は3月29日時点で1388人と、9日間で約1000人増加しており、いくつかのクリニックに陽性患者が押し寄せてもおかしくない状況です。限られた医療資源の中で知恵を絞って危機に立ち向かうメータオ・クリニックに皆さまのご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



シンシア先生（右から2番目）と、医療部門のスタッフと。（右から3番目が有高）

メータオ・クリニック支援の会 現地派遣員
有高 奈々絵

メータオ・クリニックへの寄付のお願い

有高医師からの報告にもありましたように、4月中旬を目途に、メータオ・クリニックが現在用意している緊急支援要請の詳細内容を含めた緊急報告第二弾を計画しています。



厳しい環境の中で困難に立ち向かうメータオ・クリニックに、ぜひ皆様のご支援をお願い致します。

■振込み先

ホームページ (www.japanmaetao.org) からクレジットカード決済も可能です。

「あなたとできること」→「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

<振込先口座>

ゆうちょ銀行 (銀行コード 9900)

支店名: 〇一八 (ゼロイチハチ)

口座名義: NPO 法人 メータオ・クリニック支援の会
(カタカナ) トクヒ) メータオ クリニックシエンノカイ

口座番号: 10140-8960841

* 他行からのお振込みの場合 普通 0896084

ご不明な点は、事務局 (support@japanmaetao.org) までご連絡ください。

また、当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年

【学生会員】1,825円/年

【法人会員】36,500円/年

当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。



NPO法人メータオ・クリニック支援の会
Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て Eメール	support@japanmaetao.org
JAM ウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/
Instagram	https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/
Twitter	https://twitter.com/japanmaetao

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。



